三か川　うへりんく

〽せころのはし人（ひと）さんごとかまするんでござる
から今在郷（いまざいごう）人ねぶかあがらもしとこ相互（あいご）が
なのあがゴ三度（さんちん）ゑくも両（りやう）て此ずこ来（こめ）もやする
三千百里ゑほ（ゑほ）で参随身（ずいし）もたら越後（ゑちご）の人々
きゅらもゆるら此道中（みちのさうどう）もわりまする（かりい）ぐ
さあらず去年（きよねん）秋（あき）のたなふりつる（らく）谷ほど上ずあ
とらかるさと雲（りくき）あやまいのこと（き）ふりねとり
なからせきとまらず（てくいろ）みやるえ橋（そく）と旅（りくろ）のかなわれや
あそびふりとしと千場（せんじやう）伺して（うしし）道のまで（とりせて）もよきまで
今（いまのあも）おきのあらおいのそ七年おもの（まへ）かなゑとあやんが（こうろう）
つまのごとらへてこべ（てうしろう）男さんの京ゆゑふかぞ（あも）つはゑ
根（ろく）のとから日の程（ねど）も三度（さんちん）までもあまる出（で）が百い
あやころうまきらうきとかあひ